

(学)高千穂学園110周年

学園文化は「家族主義的教育共同体」

(学)高千穂学園(藤井耐理事長)は、五月二十五日、高千穂大学(並木雅俊学長)にて創立一一

〇周年を祝う式典と祝賀会を開催した。

式典では、藤井理事長が同学園の沿革を述べ、



「創立者の川田鐵彌先生の建学の精神、教育の理念を継承し、お預かりしている園児・学生を社会に認められるよう育成し、さらには学園が未来に向けて存続・成長することをお誓いする」と式辞を述べた。祝辞では、日本私立大学協

会より大沼 淳会長(代読・福井直敬副会長)が同学園の「家族主義的教育共同体」の文化に基づいた学生支援の体制に敬意を表し、その私学教育の歴史と伝統を讀えた。

祝賀会では並木学長が、創立の年である一九〇三年がどのような年であったかを交え「園児・学生を育成するのが我々の本分。これからもご支援・ご鞭撻を賜りたい」と挨拶を述べた。続いて、同学園が所在する杉並区の田中 良区長が祝辞を述べた。また、私学として最初の高専商業学校「高千穂高等商業学校」

を設置した同学園は、同時代に発足を同じくした大倉高等商業学校(東京経済大学)、巣鴨高等商業学校(千葉商科大学)との所縁が深い。東京経済大学の久木田重和学長、(学)千葉学園(千葉商科大学)の原田嘉中理事長がそれぞれ祝辞を述べた。

同学園は、創立者の理念を今日的に表現した「学風の指針」||「常に半歩先立つ進歩性」||「学風の目標」||「気概ある常識人」||「偏らない自由人」||「平和的国際人」を具現化するべく、高千穂大学のキャンパス再開発計画を進めている。